

# 新倉庫奈良運用開始

## 森鋼材

### 更なる業務の効率化

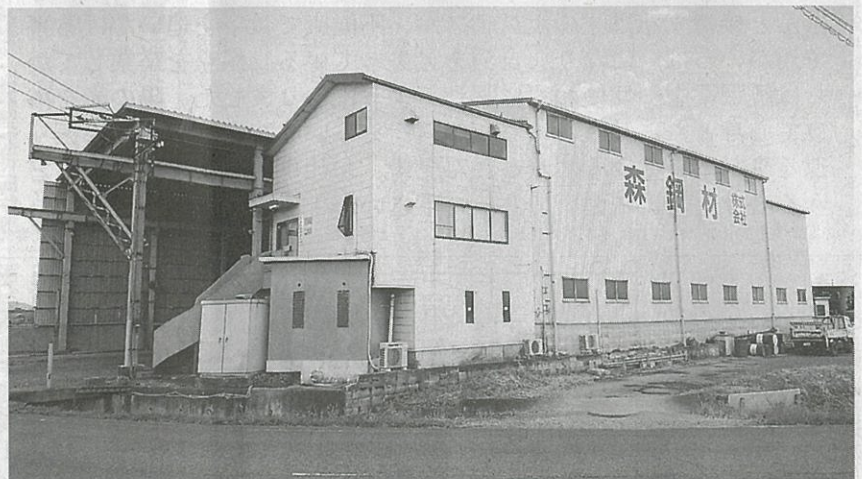
### 完成品の一時保管機能

森鋼材(株)(本社：大阪府大阪市九条南。森雄一社長)は9月1日、更なる業務効率化を目的に出荷待ち完成品を一時保管するための「奈良倉庫」を設立して運用開始。主に構造用アンカーボルト類を製造販売する同社では、太径・長尺や曲げ加工、アッセンブリー品などのスペースが必要なアイテムの取扱いには多く、今回設立の倉庫活用によって生産現場における効率化を図り、一層の高度化した安定生産・供給から一時保管のケースもにリードタイム短縮及び社内一貫対応のため豊富な鋼材を常時在庫。またユーザー都合による加工済み品の出荷日延期など、県機械郡田原本町佐味4-17-2を確保した。

森鋼材(株)は、生産現場スペースは滞留も含めた手狭で、隣の港波除に第四工場までの生産拠点を有する。構造用アンカーボルト類の製造販売を主業務とし、このような背景から数年前より倉庫運用での物受けについて、森社長は「出荷待ち品が工場内に滞留すると次の生産計画にも影響が出るため、業務効率化を目的に実施しました。お客様の納期対応など柔軟なサービス向上を図りたい」と述べている。

### 五百トン以上収納

今回の件について森社長は「出荷待ち品が工場内に滞留すると次の生産計画にも影響が出るため、業務効率化を目的に実施しました。お客様の納期対応など柔軟なサービス向上を図りたい」と述べている。



運用開始した奈良県の新倉庫

## 工鍛日 受注一六〇億円台

### 国内自動車向け増加

一般社団法人日本鍛圧機械工業会が纏めた2020年8月度鍛圧機械全会員受注動向月次業況調査では、当該月の受注総

合計は一六〇億六千万円の前年同月比30%減を示した。連続前年割れも一八ヶ月となった。但し、前年同月に比べて機種で

は小型・大型・超大型プレスが上昇したほか、国内需要の自動車向けが二割増の増加である。国内

は低調で、回復の兆しは見えていない。また、感染予防と経済活動の両立がコロナ禍後の新常态と言われ、国内の経済対策

も奏功せず、長期戦の様相を呈すとの見解となっている。

機種別をみると、プレス系機械は六一億四千万円の前年同月比16・9%減である。小型プレスは前年同月比15・1%増、大型プレス同21%増、超大型プレスも同4%増。

しかし、中型プレスは前年同月比3・2%減。油圧プレスにおいては前年同月比58%減、フォーミ

ングが同31・8%減、自動化安全装置も同64・6%減。板金系機械は四四億七千万円の前年同月比50・6%減。レーザ・プラズマが前年同月比57・6%減、プレスブレイキ同39・2%減、パンチングも同58・1%減。

内外別(機種別)については、国内は七四億七千万円の前年同月比25・6%減。自動車は前年同月比22・5%増だが、金

属製品製造業が同26・1%減、一般機械が同40・7%減、電機が同26・6%減、鉄鋼・非鉄金属も同72・2%減となった。輸出をみた場合に三億四千万円の前年同月比50・9%減。北米向けは前年同月比69・5%減、中国向け同41・4%減、欧州向け同10・1%減、東南アジア向け同54・5%減、韓国・台湾向け同87・8%減の結果である。

国土交通省が纏めた令和2年7月分建設工事受注動態統計調査報告によると、当月の受注高は六兆四、八二七億円の前年同月比12・6%減で二ヶ月連続の低下。うち元請受注高は四兆四、五四四億円の前年同月比7・3%減、下請受注高は二兆二、八三億円の同22・3%減。業種別受注高は、総合工事業が四兆九、九億円(前年同月比8・7%減)、職別工事業が八、一九八億円(同16・9%

## 六・五兆円

**DISC-LOCK**  
VIBRATION PROOF WASHERS

振動を増し締め効果に変えます。

特長・機能

- ・激しい振動部分でも緩みません!
- ・作業時間・部品数が半分!
- ・コストダウンや機械のコンパクト化が実現!
- ・完全に確実なボルトの締め込みが実現!

www.matsutomo.com

〈従来の締結方式〉 (DISC-LOCK方式) ●ダブルナット